

あなたとつなぐ

甲賀  
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report 令和6年(2024)08.01 vol.79



## Contents

- 02 【シリーズあなたとつなぐ】 甲賀市商工会 青年部
- 04 【特集】 甲賀市議会20年のあゆみ
- 08 議案審議 6月定例会
- 12 一般質問／市の考えを問う
- 18 令和5年度年度政務活動費
- 19 組合議会報告
- 20 議会活動レポート

PHOTO 「ゼロカーボンシティ」に取り組む甲賀市商工会青年部



右から、白石欣也部長、事業担当の廣岡優一委員長と池本敏和副委員長

## シリーズ あなたとつなぐ

### 甲賀市商工会 青年部



### 市議会

今回は、甲賀市商工会青年部が昨年から実施されている「学校大改修MAINICHICRAFT」について、お話をお聞きました。

今こそ、

## 行動を起す時

コロナ禍が落ち着き、社会が再び動き出している今こそ、私たち商工会青年部員が地域を活性化し、人と関わる楽しさを広める時です。

今年度、私たちは昨年開催した「学校大改修MAINICHICRAFT」をリニューアルし、さらなる地域活性化を目指します。

令和6年度は、主に小学生とその保護者を対象に、修繕作業の楽しさを伝えることを目的としています。昨年の「学校大改修」を基に、青年部メンバーがリーダーシップを発揮し、小学生とその親と一緒に楽しく修繕活動を行います。

今年度は、甲賀市の「ゼロカーボンシティ」の活動に貢献するため、窓の断熱改修などのリフォームも実施します。これにより、普段通っている小学校に新たな工夫が施されていることを子どもたちに知ってもらおう狙いです。

### 〈修繕活動と楽しみ〉

修繕内容は、窓の断熱改修に加え、ペンキの塗り替えやタイルの修繕など、参加者が楽しみながらできる作業を計画しています。これにより、親子で一日を楽しく過ごし、夏休みの素晴らしい思い出となることを目指します。昼食には地元食材を使った食事を提供し、地域の魅力も感じてもらうようにします。

## 〈商工会青年部とは〉

商工会の事業を積極的に推進すると共に、経営者としての資質を向上させ、もって商工業の総合的な改善発展を図り、あわせて地域の振興・発展、社会一般の福祉の増進、新しいまちづくりに取り組む組織で、満45歳以下の青年(男女)88人で構成されています。

年間を通して、創造力と行動力を活かし、地域振興発展や組織活性化、新しいまちづくりなどの事業に取り組んでいます。

甲賀市では、全国的な人口減少問題が深刻化しています。特に若者の市外転出が止まらず、人と人とのつながりが希薄化している状況です。このままでは、地域の人間関係がさらに薄れてしまふことが懸念されています。

私たち商工会青年部員も、地域のリーダーとして行動し、このプロジェクトを通じて地域活性化を図り、地域の皆さんが協力し合い、人とのつながりを深めることで、甲賀市の人口減少問題に立ち向かい、甲賀市の未来をより良いものにしていきます。

## 〈市議会への期待〉

今回の事業は甲賀市と教育委員会との共催となりましたが、市議会には、私たち商工会青年部と行政との橋渡し役、特に事業内容について連携を図らせていただきたいと期待するところです。

共に市の持続的な発展のために連携していきたいです。

## 学校大改修2024 MAINICHICRAFT ～毎日を笑顔にするクラフト～

日時：令和6年8月25日（日）

場所：甲賀市立甲南第一小学校

参加対象者：甲賀市内の小学生とその保護者

参加者数：100名（子ども・大人あわせて）

問合せ先：甲賀市商工会本所 青年部事務局  
（土日祝除く、9:00～17:00）

TEL.0748-62-1676

FAX.0748-63-1052



# 「ゼロカーボンシティ」活動への貢献



昨年実施した「学校大改修MAINICHICRAFT」の様子(大原小学校にて)

# 典 対談 初代副議長 曾和 政一



甲賀市が誕生して今年は20年の節目の年です。甲賀市議会も20年を迎えました。旧5町の議員が勢ぞろいした初議会は、総勢82人の市議会議員でした。あれから20年。初代甲賀市議会副議長の曾和政一さんと現在の橋本恒典議長が、20年のあゆみを振り返りながら今後の甲賀市議会の課題について語りました。

## 初議会は82人が：

## 曾和 政一

**橋本** 今年は甲賀市が誕生して20年。市議会も20周年。曾和さんは、初代の副議長さんですね。

**曾和** そつです。議長は北村重幸さん、残念ながら平成19年にお亡くなりになりました。私は副議長。五町合併で82人の議員が一堂に会しての議会です。

**橋本** 在任特例ですね。

**曾和** 正確に言うと、一年一カ月の任期でした。82人ですやろ、全員が入れる議場がないので、甲賀

消防署の「室内訓練場」をお借りしての本会議で。（人が多くて）顔すら覚えられないくらいい（笑）。

**橋本** 当時の議場風景が『議会だより』創刊号に…。

**曾和** そつそつ、こんな感じです。会派も9つ。

**橋本** 代表質問も各会派が。

**曾和** はい。毎議会代表質問。一般質問も多いときは30人。通告して質問する時はまだいいんです。でも予算・決算審査は、全員参加。

**橋本** えっ、82人全員？

**曾和** 副議長の私が「委員長をやる」ということだったんですが、議事進行も、委員長報告をまとめるのも大変だったのを覚えてます。

**橋本** 『議会だより』は、当時から議員の手作りですか。

## 市誕生20周年特別企画

## 甲賀市議会

# 20年のあゆみ



平成15年（2004）10月に誕生した甲賀市とともに、甲賀市議会も今年で20周年を迎えました。これまでのあゆみを振り返ってみました。

### 平成16（2004）年

● 在任特例により旧5町から82名の議員が集まり議会



議会だより創刊号

### 平成18（2006）年

● 予算特別委員会で集中審議  
● サマーエコスタイル（6月議会）

● 「議会だより」12号が「近畿市町広報紙コンクール」で優良賞



### 平成21（2009）年

● 議員定数27人に  
● 一般質問に「二問一答方式」導入

● 費用弁償は実質交通費に

### 平成25（2013）年

● 議場にモニター設置（6月から）





1期＝在任特例  
(2004年10月1日～2005年10月31日)



2期  
(2005年11月1日～2009年10月31日)



3期  
(2009年11月1日～2013年10月31日)



4期  
(2013年11月1日～2017年10月31日)



5期  
(2017年11月1日～2021年10月31日)

広報はいまも議員手作りで： 橋本恒典

**曾和** 広報特別委員会で。  
**橋本** その伝統は、今も引き継いでいます。いまは、広報広聴委員会として発展させて、広く市民の皆さんの意見をお聞きする企画を。

**曾和** 凄いですね。私がもうひとつ凄いと思うのは、ほぼ全議員が一般質問されていることです。多くの議員が発言すると市政の課題が多面的で多様な側面から検証することが出来ます。  
**橋本** 議員の大事な仕事ですね。(6面ににつづく)



しみに読ませてもらっています。誰がどんな質問をされたのかが一番関心です。  
**橋本** 手作り感満載の『議会だより』は、今号で通算79号に。この間、優良賞・優秀賞など、広報紙コンクールで何度も賞をいただいで。  
**曾和** 凄いですね。私がもうひとつ凄いと思うのは、ほぼ全議員が一般質問されていることです。多くの議員が発言すると市政の課題が多面的で多様な側面から検証することが出来ます。

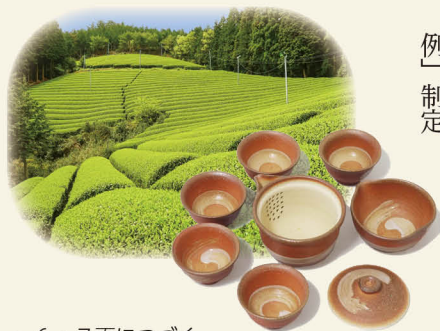
●議員提案で「非核平和都市宣言に関する決議」を全会一致で採択



旧水口町役場議場で30名が

●平成17(2005年) 10月市議選(中選挙区) 30名の議員に

平成17(2005年)



←6・7面ににつづく

●議員提案で「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でおもてなしをする条例」制定

平成27(2015年)

●議会基本条例制定(9月議会)



# 典 対談 初代副議長 曾和 政一

住民福祉の向上と地域の発展へ  
今後も議会として頑張ってほしいですね



曾和 政一 さん

**曾和** 私の区の役員のOB会で年に一回は本会議傍聴をさせてもらってます。

**橋本** ありがとうございます。いまは、あいコムこうかのテレビやネットでの中継もありますが、やっぱり生での議会傍聴は違いますね。

**曾和** はい。市長さんも「緊張するわ…」って言うてはりました。議員も執行部も。実は私は、農業委員会会長として、答弁席にたったこともあるんです。その時は緊張しましたわ（笑）。テレビカメラもあって…。

**橋本** 私は、定数が30から27になった2009年から議員させてもらっているのですが、平成25年に

は「議会基本条例」、平成30年には「政治倫理条例」を議員提案で制定。平成27年3月議会には「甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」も全会一致で制定させてもらいました。この器も信楽焼で。

**曾和** 名神名阪連絡道計画でもご尽力いただいて。

**橋本** はい。名神名阪連絡道路は、ようやく令和5年4月に全線が「計画区間」に指定されました。議会としても、全員が議員連盟に参加して取り組んできました。

**曾和** ところで合併時は人口約9万5千人。いまは8万8千人。人口減少にどう対応するのか。学校の統廃合にも影響してくる…。

**橋本** 少子化、高齢化のもとで、地域づくりは大きな課題です。地域のさまざまな願いを議会ですぐ取り上げていくのか。役割は大事です。

**曾和** いまは定数が24。高齢化になると地域公共交通の充実、草津

平成29(2017)年

●新庁舎での業務開始（5月8日）

●本議会のネット中継（あいコムこうかでも中継）



●議員定数24人に

●予算決算常任委員会を常設

平成30(2018)年

●政務活動費をHPで公開

●「政治倫理条例」制定（12月）

令和2(2020)年

●議会BCP（業務継続計画）発動（新型コロナウイルス等災害時でも議会の機能を継続）



●広報広聴委員会を始動

令和4(2022)年

●「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」全会一致で可決

●「甲賀市環境未来都市宣言」議会と市で共同宣言



令和5(2023)年

●「ガザ地区における平和の実現を求める決議」全会一致で可決

令和6(2024)年

●市政施行20周年（10月）



# データからみる 甲賀市議会

20年間の市議会の  
主なデータを  
紹介します。



2024年

2004年



約4,197人



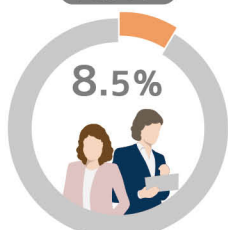
約1,162人

議員一人あたりの市民の割合は約4倍に。

議員一人あたり  
市民の人数

## 女性議員の割合

2004年



2024年



女性議員数は20年前が82人中7人。今は21人中4人。市議会での男女共同参画は確実に進んでいます。

## 他市から甲賀市議会に 研修(この20年間)

- 議会だより...48件
- 議会改革..... 5件
- 議会運営..... 1件

## 議員提案と請願

- 議員提案の意見書  
20年間で521件、  
うち可決241件
- 議員提案の条例  
20年間で36件、  
うち可決32件
- 請願  
20年間で87件、  
うち22件採択

## 議会ネット中継の 最高アクセス数

1,339件 2024年2月28日、  
会派による代表質問。



## 議会本会議

最も長時間開催したのは  
2005年2月28日

3月定例会2日目10時に開会。散会  
は23時18分10秒でした。



線の増便、私が現職の時は、複線化を強く要望していたのですが...



橋本 恒典 議長

**橋本** 同感です。  
**曾和** 合併当初の時から強調していたのですが、「合併は目的ではなくて手段である」と。目的は、住民福祉の向上と地域の発展。ここが大事ですから、今後も議会として頑張ってほしいですね。  
**橋本** 本日は、貴重なお話、ありがとうございました。

聴可能

常任委員会もネット中継  
(9月から)  
スマホ・タブレットでも視



ペーパーレスでタブレット導入



# 補正予算審議 10億9,669万9,000円

6月25日の予算決算常任委員会では、付託された一般会計補正予算案について、審査を行い、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

## Check! 子育て・教育に関する予算

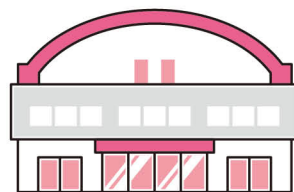
### 中学校特別教室等空調設備整備事業

8億3,920万1,000円

市内6中学校の屋内運動場（体育館）等における空調設備整備工事にかかる経費

**Q** 体育館の断熱整備と体育館・特別教室の整備日程について。

**A** 屋内運動場への空調設備に関するもので、断熱設備は含まない。整備は10～12月の予定、特別教室（理科室等）も同時期の予定。



## Check! 福祉・介護に関する予算

### 予防接種事業

2億3,110万4,000円

新型コロナウイルスワクチン定期接種化に伴い、予防接種を実施するための経費

**Q** ワクチン接種の個人負担費用と市外で接種する場合の対応。

**A** 甲賀市民の個人負担額は2,000円。県内他市町で接種の場合も同額、県外での接種の場合は、一旦、全額負担後に返金する。



## Check! 自治体DXに関する予算

### ガバメントクラウド接続環境構築事業

132万3,000円

市役所の基幹系情報システムの標準化移行に伴い、接続環境構築業務委託を実施するための経費

**Q** 現状のおうみ自治体クラウドとの関係と使用料について。

**A** 自治体クラウドの枠組は継続して連携する形式をとる。ガバメントクラウド利用を含めた標準化する部分の使用料は2倍程度に上昇する見込み。



# 6月定例会 議案の質疑

議案第40号 専決処分につき承認を求めることについて

PICK UP 1

地方税法の一部改正に伴い、甲賀市税条例の一部を改正するもので、「災害による家屋の滅失等滅失事由に該当することが明らかであり、かつ減免する必要がある」と市長が認める場合」とある。

Q 「災害」とはごまでの範囲なのか。「職権」の範囲とは何か。

A 災害の定義は、震災、風水害、火災などにより、生活機能、社会維持機能が阻害されるような災害であり、その範囲は、大規模災害に限定せず小規模・限定的な災害であっても支援・対策が必要な災害も対象の範囲としている。職権の範囲は、納税義務者が死亡された場合や被害が

一見して明らかの場合、職権の手続きを行うことで、納税義務者の負担軽減を図るもので、漏れなく迅速に減免を受けていた

だけの対応を取る。

Q 減免の対象は、課税されたその年度だけのものか。

A 当該年度が対象となるが、次年度以降も納付が著しく困難な場合は、関係法令や条例に基づき判断する。

議案第42号 甲賀市道の駅条例の制定について

PICK UP 2

再整備される道の駅は「防災道の駅」としても整備が進められている。第1条では「地域の防災機能の充実を図る」とある。また第4条では「災害発生時の被害者等への支援に関する事業実施」とある。

Q 支援内容・防災機能とはどのようなものか。

A 防災道の駅は、大規模災害などが発生した時の避難所や救援活動の拠点となる施設で国土交通省が認定しており、現在のところ全国で39の道の駅が認定されている。

大規模災害や局地的な災害時には、国道1号や新名神高速道路が通行不能となることから、道路利用者の一時的な避難場所としての役割、救援活動の前線基地、支援物資の集配基地など、国・県と連携した広域的な防災拠点として、非常用発電装置や貯水施設、マンホールトイレや防災倉庫の設置、飲料水の確保等、防災機能の整備を図る。

Q 貸し施設の使用料が定められているが、利用料金として指定管理者の収入になるという理解でよいのか。多目的室の借用は、どういう団体を想定しているのか。

A 利用料金の収入は、指定管理者の収入になる。  
また、多目的室を利用する団体については、生涯学習団体や

市民サークル団体をはじめ、道の駅を利用してイベントやワークショップ等を開催される事業者や団体、起業支援のチャレンジショップとしてテストマーケティングを実施される新規就農者や店舗や事務所を構えておられない事業者の他、リモートワークや学習等の利用も想定している。

利用が限定的とならず、様々な用途に利用いただきたい。「地域の皆様が気軽に立ち寄れる場所」「地域の皆様が活躍できる場所」となるよう、積極的な利用を呼び掛けたい。



PICK UP 3

交通安全施設整備事業

1,300万円

「国の交付決定に伴い、通学路交通安全施設整備工事に係る事業費を増額」とある。

Q 「通学路」に限定した交通安全施設整備なのか。場所が特定されることが。

A 市道における小学校と中学校の通学路を対象としたもの。対策箇所は合同点検に基づいた緊急性の高い箇所の整備を予定。



PICK UP 4

放課後児童クラブ支援事業

338万4,000円

「物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減のため、市内放課後児童クラブ運営事業者に対し、おやつ代の価格高騰分を支援

するための経費」とある。

Q 積算根拠と今後の値上げは反映してのものか。

A 滋賀県が積算根拠を示しており、1月の差額212円を基に、市内利用予定児童数1,330人と12月を乗じて積算。令和7年3月までの物価指数の上昇を見込んでいる。

PICK UP 5

フリースクール利用支援事業

180万円

「県が実施する『民間施設を利用することもや保護者への支援の在り方調査・検証事業』において、調査協力世帯に協力を金を支給するための経費」とある。

Q 誰が誰を対象にアンケートを行うのか。どういう形で協力金を支払うのか。

A 県の委託事業者が、フリースクール等を含む民間施設を利用している不登校の状態にある児童・生徒及び保護者の中で、ア

ンケート調査に協力を申し出ていただいた保護者等を対象に、アンケート調査を行うもの。委託事業者から対象となる保護者に、謝礼という形で支払う。

PICK UP 6

先導的官民連携支援事業補助金

減額 2,000万円

国の補助金が不採択となり、「甲賀土山・IC周辺工業団地整備事業(官民連携物流拠点整備調査検討業務委託)に関する予算が全額減額されたもの。

Q ①不採択の理由と当局の捉え方。  
②不採択が決定した時期は。

A ①事業用地の確保ができていなかったこと、早期の事業実施につながる可能性の高い事業が評価されること等から、当市の申請スケジュール感とは相いれなかった点が原因ではないか。

②4月3日付けの国土交通省総合政策局長からの不採択の通知。

PICK UP 7

予防接種事業

2億3,110万4千円

本年10月から実施する「新型コロナウイルススワクチンの定期接種化に伴い、予防接種を実施する経費を増額」とある。

Q ①経費の内訳と積算根拠は。

②市民への情報提供は。

③新型コロナウイルススワクチン予防接種の自己負担額は。

A ①1回の接種費用は、国から示されたワクチン代、予防接種手技料を合計した、1万5300円、接種者数は1万7000人と見込んでいる。

②広報こうかへの掲載をはじめ、ホームページ、SNSのほか、市内医療機関や公共施設等へのポスター掲示などにより、周知を図る。

③近隣市とも協議し、自己負担額を1回あたり2000円。住民税非課税世帯や生活保護世帯の方は、無料で接種できる。

# 6月定例会議決結果

全員賛成で可決・承認・採択したもの

|      | 番 号      | 提案者 | 件 名                                             |
|------|----------|-----|-------------------------------------------------|
| 専決案件 | 議案第40号   | 市長  | 甲賀市税条例の一部を改正する条例の制定について                         |
|      | 議案第41号   | 市長  | 甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について                   |
| 条 例  | 議案第42号   | 市長  | 甲賀市道の駅条例の制定について                                 |
|      | 議案第43号   | 市長  | 甲賀市保育園設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                |
|      | 議案第44号   | 市長  | 甲賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について |
|      | 議案第45号   | 市長  | 甲賀市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について                 |
|      | 議案第46号   | 市長  | 甲賀市児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について                     |
|      | 議案第47号   | 市長  | 甲賀市固定資産税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について                 |
| 予補算正 | 議案第48号   | 市長  | 令和6年度甲賀市一般会計補正予算（第1号）                           |
| その他  | 議案第49号   | 市長  | 和解及び損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて                 |
|      | 議案第50号   | 市長  | 財産の無償貸付けにつき議決を求めることについて                         |
|      | 議案第51号   | 市長  | 市道路線の認定につき議決を求めることについて                          |
|      | 議案第52号   | 市長  | 契約の締結につき議決を求めることについて                            |
| 意見書  | 意見書案第9号  | 堀   | 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書の提出について      |
|      | 意見書案第10号 | 木村  | 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書の提出について                |

## 賛否の分かれた議決結果

○…賛成、●…反対、―…棄権

| 番 号      | 議案等の名称                                            | 提案者   | 討論   |    | 凛風会 |      |      |      |       |       |       |       |       |       | 自由民主党誠翔会 |       |      |       |      | 公明党   |      |       | 日本共産党 |      |    | 結果 |
|----------|---------------------------------------------------|-------|------|----|-----|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|----|----|
|          |                                                   |       | 賛成   | 反対 | 西田忠 | 瀬古幾司 | 西村 慧 | 林田久充 | 谷永 兼二 | 田中 新人 | 橋本 律子 | 北田 麗子 | 中島 裕介 | 奥村 則夫 | 小倉 剛     | 田中 喜克 | 戎脇 浩 | 木村 眞雄 | 堀 郁子 | 田中 将之 | 西山 実 | 岡田 重美 | 山岡 光広 | 福井 進 | 結果 |    |
|          |                                                   |       |      |    |     |      |      |      |       |       |       |       |       |       |          |       |      |       |      |       |      |       |       |      |    |    |
| 意見書案第6号  | 金権腐敗政治の温床となっている企業・団体献金の禁止を求める意見書の提出について           | 岡田 木村 | 山岡   | ●  | ●   | ●    | ●    | ●    | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●        | ●     | ●    | ●     | ●    | ○     | ○    | ○     | ○     | 否    |    |    |
| 意見書案第7号  | 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書の提出について                 | 山岡 戎脇 | 西山   | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | —        | ●     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | —     | ○     | 可    |    |    |
| 意見書案第8号  | 下水道の維持管理・更新におけるウォーターＰＰＰ導入に向けての丁寧な対応を求める意見書の提出について | 田中 将  | 西山 堀 | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●        | ●     | ○    | ○     | ○    | ●     | ●    | ●     | ○     | 可    |    |    |
| 意見書案第11号 | 地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書の提出について            | 木村 山岡 | 田中 将 | ○  | ○   | ○    | ○    | ○    | ○     | ○     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●        | ●     | ○    | ○     | ○    | ●     | ●    | ●     | ○     | 可    |    |    |
| 意見書案第12号 | 機能的表示食品制度の抜本的改正を求める意見書の提出について                     | 西山 西田 | 岡田   | ●  | ●   | ●    | ●    | ●    | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●        | ●     | ●    | ●     | ●    | ○     | ○    | ○     | ○     | 否    |    |    |

※橋本恒典議員は議長のため採決に加わらない

# 19人の議員が 市の考えを問う

第2回定例会の一般質問が、6月14日、17日、18日、19日の4日間にわたって行われ、19人の議員が市政について質問しました。  
質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| にしむら けい<br>西村 慧    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人口フレームと近年の人口動態について</li> <li>2 オンライン合意形成プラットフォームの効果的な運用について</li> <li>3 市内における物流事業の今後の展開について</li> </ol>                                                                                                                                   |
| たなか よしかつ<br>田中 喜克  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大規模災害に備えて 「命をつなぐ水」の確保に 完全なる上水道施設の整備、維持を</li> <li>2 災害は忘れたころにやってくる 「自助、共助、公助」でいざという時に備えるために</li> <li>3 大規模災害に備えて 「建物の耐震化」の推進強化について</li> <li>4 大規模災害に備えて 「学校給食センター」を防災拠点として整備できないか</li> <li>5 大規模災害に備えて、水口中心市街地に防災拠点・火止め空間の設置を</li> </ol> |
| ほり いくこ<br>堀 郁子     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員の働く環境整備について</li> <li>2 子ども支援</li> <li>3 生理用品を女子トイレに設置</li> <li>4 健康促進のため、健康運動増進支援補助</li> <li>5 夜間の公共交通について</li> </ol>                                                                                                                 |
| きむら まさお<br>木村 眞雄   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 くすり学習館の有効利用について</li> <li>2 熱中症対策について</li> <li>3 特殊詐欺の被害防止に向けての対策強化について</li> </ol>                                                                                                                                                       |
| なかじま ゆうすけ<br>中島 裕介 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 抱え上げない介護の更なる推奨について</li> <li>2 職員の働く環境整備について</li> </ol>                                                                                                                                                                                  |
| ふくい すずむ<br>福井 進    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 物価高の中、小中学校の修学旅行への支援を</li> <li>2 放課後等デイサービス施設と利用者の支援について</li> </ol>                                                                                                                                                                      |
| おくむら のりお<br>奥村 則夫  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人材確保について</li> <li>2 地域芸能の保存・伝承について</li> </ol>                                                                                                                                                                                           |
| たになが けんじ<br>谷永 兼二  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 合併20年経過の課題について</li> <li>2 市制施行20周年を迎えるにあたって主要事業に期待する効果は</li> <li>3 市制施行20周年を迎えるにあたって市長が描く将来像は</li> </ol>                                                                                                                                |
| やまおか みつひろ<br>山岡 光広 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 3つの子育て無償化の政策過程と今後の課題について</li> <li>2 市民センターの指定管理とそれ以外の市民センターでのシルバー人材センター派遣について</li> <li>3 近江八幡市内で設置された「横断歩道」表示 ゼビ甲賀市でも設置を求める</li> <li>4 甲賀市高齢者団体育成補助金要綱について</li> </ol>                                                                   |
| おかだ しげみ<br>岡田 重美   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全ての子どもの健全な成長のために「子ども権利条例」の制定を</li> <li>2 投票区(投票所)の見直しについて</li> <li>3 生活保護世帯のエアコン購入・設置補助、夏季加算の創設を</li> <li>4 带状疱疹ワクチン接種助成について</li> <li>5 コミバス南草津土山線の減便について</li> </ol>                                                                    |
| にしやま みのもる<br>西山 実  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 有機フッ素化合物の検査について2</li> <li>2 学校行事として児童・生徒を危険な大阪・関西万博へ参加させることはやめるべき</li> <li>3 能登半島地震を踏まえた戸建て木造住宅の耐震化の拡充と耐震診断の拡大について</li> <li>4 水口スポーツの森 天守閣展望台・トリムコースの改修について</li> </ol>                                                                  |
| はやしだ ひさみつ<br>林田 久充 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第2次甲賀市総合計画(第3期基本計画)策定について</li> </ol>                                                                                                                                                                                                    |
| にしだ まこと<br>西田 忠    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ライトレールの可能性について</li> <li>2 いざという時の被災者支援について</li> </ol>                                                                                                                                                                                   |
| おくら つよし<br>小倉 剛    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 獣害対策(追い払い犬)について</li> <li>2 登山者の安全確保について</li> </ol>                                                                                                                                                                                      |
| せこ いくじ<br>瀬古 幾司    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中学校部活動地域移行の現状と課題について</li> <li>2 子ども子育て条例の制定に向けて</li> </ol>                                                                                                                                                                              |
| はしもと りつこ<br>橋本 律子  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新しい豊かさの実現に向け、大きな展望で</li> <li>2 甲賀市の誇りを次世代へ</li> </ol>                                                                                                                                                                                   |
| たなか まさゆき<br>田中 将之  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 シティプロモーションについて</li> <li>2 フューチャー・デザインの積極的な活用について</li> <li>3 人口減少と若者支援について</li> </ol>                                                                                                                                                    |
| たなか あらと<br>田中 新人   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 災害に備える対策と災害時の対応・体制について</li> <li>2 農産物のブランド化と農業振興について</li> </ol>                                                                                                                                                                         |
| えびさわき ひろし<br>戎脇 浩  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 書かない窓口と総合窓口課への転換</li> </ol>                                                                                                                                                                                                             |

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

市議会だより  
2024.8



公明党

堀 郁子



## 子どもの権利条例制定と、 生理用品を女子トイレに設置

質問

子ども権利条約を日本が批准して 30 年になるが、未だ子どもの権利が浸透されていない。子どもの権利を子どもがわかる形で子ども権利条例を制定してはどうか、子どもが 1 人でも相談に行きたいと思えるような子ども権利相談センターを設置しては、子どもたちが見てわかるように、子どもの権利条例を漫画やイラストで作成しては。また、ヤングケアラーや虐待を受けている子どもは長期休暇が地獄だったと聞く。その間の子どもの居場所に学校の図書館や体育館をオープンデイとして子どもたち皆に解放し、勉強や遊べるようにしてはどうか。

生理用品を利用者への配慮で個室トイレに設置する自治体が増えている。学校や公共施設の女子トイレに生理用品を設置してはどうか。

回答

子どもの権利と子育て支援策を包括した子ども条例の策定を検討する。権利相談センターは少年センターから関係機関につなげる。人権啓発教材のコラム欄で子どもの権利について掲載している。学校施設は施設管理者の許可を得て有効活用するべきものとする。学校の子供トイレに生理用品の設置を検討する。



凜風会

西村 慧



## 人口フレームと近年の人口動態は

質問

①県の毎月人口調査の本市の数値は。②現状と人口フレーム(令和10年:87,000人)に対する所見は。③人口減少対策として、今後(第3期基本計画)注力する点は。

回答

①本年5月時点で86,837人である。②87,000人を下回っているが、内容は変更せず、これまで以上に重点的に取り組む。③「若者・子育て世代に選ばれるまち」を重点目標とする。

## オンライン合意形成プラットフォームの 効果的運用を

質問

導入の目的は。

回答

若い世代の市政への参画が少ないことから、その課題解決として導入した。

## 市内の物流事業の今後の展開について

質問

①市内への物流事業施設立地の利点は。②本市の特色を活かした物流拠点整備の考えは。

回答

①製造品出荷額県内1位のまちとして、製造現場の近くに立地することは互いに相乗効果が得られるものと考ええる。②将来的に名神名阪連絡道路が整備されれば有数のエリアとなり、しっかり前に進めたい。



公明党

木村 真雄



## くすり学習館の活性化について

質問

館内に薬膳料理を提供するなど、飲食コーナーを設けてはどうか。

回答

常設は困難であるが、イベント等での対応は可能。また、館内で休憩スペースの設置や物品販売等を検討し、より魅力的な施設になるよう努める。

## 熱中症予防対策について

質問

①熱中症特別警戒アラートの運用開始について見解を伺う。②クーリングシェルターの開設が必要と考えるが見解を伺う。③さらなる市民への啓発や対策について伺う。

回答

①本アラートの発令は、災害級の暑さと捉えての対策が必要である。各部署がさらに連携を深め、引き続き対策に努める。②本アラート発令時に、避難場所を確保することは必要である。今後、クーリングシェルターとしての公共施設の開放に向けた協議を進めていく。③個人の備えを啓発すると共に、避難場所について周知を図る。また、場の確保については、公共施設のみならず、大型量販店など民間事業者にも協力を求める等の検討をする。



自由民主党 誠翔会

田中 喜克



## 大規模災害に備えて「学校給食センター」を 防災拠点として整備を

質問

大災害に備えて、防災拠点として使える「学校給食センター」の整備が全国に広がっている。「給食センター」と避難施設、物資・資材の備蓄基地も併設した「食」を核とした施設整備はできないか。

回答

市内2つの「学校給食センター」は、「食」を核とした災害対応が図れる施設となっている。今後において災害対応の状況変化があれば、様々な対応を検討する。

## 大規模災害に備えて、水口中心市街地に 防災拠点・火止め空間の設置を

質問

水口中心市街地は、かつて大火災の時広い道路で延焼が止まったと伝わる。現在その中心市街地に、遊休の民有地が存するこの地を「防災公共空間」と出来ないか。

回答

水口中心市街地での防災公共空間の整備は、長期的な維持管理、その有効性、また地域との合意形成が必要。現在、庁内部局横断で進める「東海道『暮らし・にぎわい』再生事業」の中でもその必要性について見極めていく。



自由民主党 誠翔会  
おくむら のりお  
**奥村 則夫**



## 人材確保について

質問

先進的に取り組まれている南あわじ市の高齢者等元気活躍推進事業を題材に、甲賀市でも取り組むべきだと提言した。①甲賀市内の人材確保の現状と現場の声は。②人材確保の対策は。③シルバー人材センターの現状は。④高齢者等元気活躍推進事業のような施策を取り入れては。

回答

①あらゆる分野で人材確保が難しくなっている。②JOBフェアやマッチングの場の提供、奨学金返還支援などを実施。離職防止対策にも取り組んでいる。③会員数は増加傾向で、平均年齢は74.2歳で最高年齢は96歳。④仕組みづくりと施策をパッケージ化していくことが大切であると痛感している。前向きに進めて行く。

## 地域芸能の保存・伝承について

質問

①市内の伝統芸能や祭礼の数は。②保存・伝承の計画はあるのか。③保存・伝承が難しくなっている地域への支援は。

回答

①文化財指定等は21件。②甲賀市文化財保存活用地域計画を令和2年に策定。③祭りの運営や用具等の修繕補助、学校への出前講座など、地域に寄り添った支援に取り組む。



凜風会  
たになが けんじ  
**谷永 兼二**



## 合併20年経過の課題について

質問

①市有施設でない消防団施設は何箇所か。②市有消防施設の維持管理は。③市有施設以外の消防施設の維持管理等はどのようになっているのか。④公共施設等総合管理計画及び甲賀市消防施設長寿命化計画には区自治会等で所有している消防施設は対象になっていない。今後どうするのか。

回答

①消防車庫については117か所あり、その内市の管理する施設は32箇所、市が管理していない施設は85箇所である。②市が管理する施設の光熱水費などの管理経費については、市が負担している。③区など地域が施設の管理経費を負担いただいているが、一部施設においては、光熱水費の種類によって負担している管理者が異なっている場合がある。このように、施設によっては経費負担に不均衡が生じているケースがあるので、今後、一定の整理が必要であると考えている。④「公共施設等総合管理計画」では、市が保有する施設に加えて、行政目的に使用する施設も対象としているので、市が保有していない消防施設についても「消防施設長寿命化計画」の見直し検討が必要であると考えている。



自由民主党 誠翔会  
なかじま ゆうすけ  
**中島 裕介**



## 抱え上げない介護の推奨について

質問

①組織体制の整備の市の関わり方について。②抱え上げない介護の研修について。③介護器具の市内事業所への推奨について。④今後、市としてどのように啓発していくのか。

回答

①事業者向けに実施する研修や説明会の開催等を通じて、介護職の負担を軽減させるための必要性を周知する。②「抱え上げない介護等推進協議会」が主催する「抱え上げない介護」の理論や技術について体験を交えての研修会の開催などを後方支援し、利用者のみならず介護職員にとっても安全で安心なケアの実践に繋げる。③身体の正しい使い方に合わせて、適切な福祉用具・機器の活用が重要で、在宅医療・介護連携の推進という視点だけでなく職場環境の改善や「働き方」といった視点による事業推奨に取り組む。④在宅医療・介護連携のみならず、職場環境の改善と人材確保、育成、定着に資する事業であり、福祉・介護人材の確保定着及び生産性向上の推進に向けた事業として「抱え上げない介護」を活用し、事業を推奨される滋賀県社会福祉協議会と更なる連携をはかり取り組む。



無所属  
ふくい すずむ  
**福井 進**



## 物価高での修学旅行等への支援

質問

①沖縄修学旅行について。②修学旅行への支援について。③物価高での修学旅行への支援を要望。

回答

①滋賀県内初として水口中学校が実施し市内各校に広がり、延べ約1万4千人が参加している。費用はコロナ前後で約5千円上昇し、一層の高騰が懸念される。②合併当時、小学生は一人2,500円、中学生は一人5,000円の補助をしていた。現在同様の補助はない。③一生の思い出となる貴重な教育活動であり、物価高騰に対する対応について検討する。

## 放課後等デイサービスへの支援

質問

法律改定により、障がいのある子どもたちの居場所が少なくなるという懸念に関し、①報酬改定等での施設の困り事。②利用者と保護者への影響。③市ができる支援を提案。

回答

①事務作業の増加と人材確保・報酬等への不安がある。②サービス(療育内容・時間)の縮小等の心配がある。③市ができることを検討すると共に、実態にそぐわない点については、国・県に要望していく。



日本共産党  
にしやま みのる  
**西山 実**



### 学校行事で万博への参加はやめるべき

質問

滋賀県が子ども達を公費で無料招待する計画を進めている大阪・関西万博。会場の夢洲は、廃棄物の最終処分場だった場所。児童・生徒の安全が確保されない以上、学校行事としての参加はやめるべき。

回答

行事の実施にあたって、安全確保、移動手段の方法・確保、経費負担、期日や見学コースの限定など、協会や県からの正式な情報が少なく、判断に苦慮している。学校行事として参加する場合は、なにより児童・生徒の安全確保が大切。

### 木造住宅の耐震化、耐震診断の拡大を

質問

①甲賀市内の新耐震基準を満たさない住宅の推計戸数は。②「広報こうか」5月号で募集された、耐震化等事業の申し込み状況は。③事業の拡充、市民へのPRを広げる必要があるのでは。

回答

①耐震性を満たさない住宅は令和2年度末で4,810戸、14.3%。②5月末現在で「木造住宅耐震診断員派遣事業」9件、「ブロック塀等撤去事業」8件の申し込み。③「出前講座」や広報での特集など普及啓発を進める。



凜風会  
はやし たかふみ  
**林田 久充**



### 第3期基本計画策定について

質問

①基本計画は、市民にとってどのような位置付けか。②策定にあたって「市民参画」と「情報提供」の考えは。③「新しい豊かさ」に関して市長が考えるまちや人の暮らしのイメージとは。④政策自治体としての組織の構築は急務である。市長の考えは。

回答

①市民、地域コミュニティ、市民活動団体、事業者等の皆様と一体となって取り組む協働の計画。②総合計画審議会の審議過程の公表など広くご意見を聴くための情報提供に取り組む。③市民の皆さまが、それぞれの「自分らしさ」を表現し、叶えたいライフスタイルで、その余白を埋めるような暮らし方を応援していきたい。例えば歴史や文化が日常生活に溶け込み、成熟した自治のルールが確立しているヨーロッパの地方都市で営まれているような暮らし方をイメージしている。ウェルビーイングに加え、甲賀らしさを追求し、まちづくりに取り組む。④行政組織のガバナンスを基本的に見直し、個々と組織、両方の政策形成能力が発揮できる仕組みを先頭にとって構築してまいりたい。



日本共産党  
やまおか みつひろ  
**山岡 光広**



### 3つの子育て無償化の政策形成過程に問題あり

質問

オムツの無償化・一時預かり保育無償化・病児病後児保育の無償化は「子育て支援策」として評価するが、議会に説明もなし、保育関係者に説明もなしに政策化するのとは問題。

回答

内容や方向性など保育現場の声を十分に汲み取れたかどうかという点では十分でなかったと認識している。今後は、民間事業者の意見も十分お聞きしながら取り組んでいく。

### 単位老人クラブに育成補助を

質問

①市老人クラブ連合会に未加入の単位老人クラブには補助していないのは問題。補助要綱には一切条件はない。補助要綱に基づき申請があれば支給すべき。②要綱に基づき支給すればいいこと。単位老人クラブから申請があれば審査の上支給すべき。

回答

①在宅の高齢者の健康と福祉の増進の観点からも老人クラブの活動支援は大変重要。連合会との兼ね合いも考慮しながらどのような形で支援できるか検討したい。②令和7年度から検討したい。



日本共産党  
おかだ しげみ  
**岡田 重美**



### 投票区の見直しについて

質問

①投票区域編成審議会の答申では、一定の削減はやむを得ないとしつつも、95カ所を37カ所に減らす案は急激であると指摘がされた。選管として答申をどう受け止めているか。②答申では、投票率の低下をまねかないことも強調された。投票区削減ではなく投票率向上への取組を優先すべき。

回答

①7回の審議会で議論と熟考が重ねられ導き出された結果であり、大変重く受け止めている。②投票しやすい環境づくり・投票機会の確保に努めたい。

### 带状疱疹ワクチンの接種助成を

質問

ワクチンは高額である。接種の助成制度を設けるべき。

回答

来年度予算で実施できるよう検討を進めたい。

### コミバス南草津土山線について

質問

4月改正により9時40分発が減便されたが、復活を求める声が多い。住民の生活に必要な便であり復活すべき。

回答

改正後様々な意見がある。可能な範囲で改善できるよう検討を進めている。



凜風会

瀬古 幾司



## 中学校部活動の地域移行の現状と課題について

質問

①教員の受け止めは。②推進期間が1年経過した地域移行の現況は、また環境整備は。③受け皿となる地域クラブなどへの働きかけは。④課題は。⑤今後の方針は。

回答

①地域クラブに移行と顧問が行う意見に二分されている。②1校1競技が移行しているが、すべての中学校での環境整備にまで至っていない。③令和4年の地域移行検討会議で市スポーツ協会等へ協力依頼はしたが、その後は積極的には進めていない。④地域クラブから前向きな意見もあるが、指導者が揃わない・事故の対応等課題も多い。⑤令和8年夏以降を目途に休日の段階的移行を進める。

## 子ども・子育て条例の制定について

質問

①施策は実施しているが、基本となる条例が必要ではないか。②ベビーカー優先や子どもの泣き声・遊び声を騒音としない等「子育てのしやすさ」をアピールする条例にしてはどうか。

回答

①必要性は認識しており、検討する。②制定の際は、法律との整合性を図り検討する。



凜風会

橋本 律子



## 子ども支援・連携は大きな展望で

質問

①誰一人取り残さない子ども支援が必要だが。②こども基本法への取り組み状況・学校での支援体制と課題を伺う。③学習支援事業“学んでいコウカ”の事業効果は大きいと捉えられている今後、家庭へのアウトリーチ支援・プッシュ型支援を前向きに取り組むことが望まれるが実態はどうか。

回答

①家庭・学校・地域一体の連携で子ども家庭に応じた支援の相談体制を強化する。②第3期、子ども・子育て応援団支援事業計画の中で、こども基本法の趣旨を反映していく予定。保健センター・子育て支援センターで当事者の立場に立ち寄り添い、支援を行っている。虐待の予防的対応や子育て家庭の相談支援を強化していく。家庭・学校・地域一体となれる体制と連携が必要、子どもの変化に気づきSOSを見逃さない努力が必要、現在、サポート会議や地域の人的支援を受け、新たにスペシャルサポートを設置し対応している。③生活困窮・ひとり親家庭、不登校への食事提供等、安心でのきる居場所づくりとなっている。加えて各機関連携を強化しアウトリーチ等進めていく。



凜風会

西田 忠



## ライトレールの可能性について

質問

宇都宮市でライトレール(以下LRT)が開業し、好調な滑り出しをみせている。街づくりのアイテムとしてのLRTという選択肢、仮に甲賀市の街づくりに当てはめてみた場合の可能性は。

回答

現在の本市の状況を勘案すると現実にはハードルが高いが、市内主要個所をLRTで運行できれば本市の街づくりに大きく寄与すると考える。

## 災害時の被災者支援について

質問

①能登半島地震から間もなく半年。「甲賀市避難所運営マニュアル」の見直しが必要では。②災害弱者をどのように把握し情報を伝えるのか。③『黄色いタスキ大作戦』という地域防災活動が有効では。④避難所外避難者の支援計画・体制は。⑤防災関連組織の人材バンクが有効では。

回答

①課題等を検証し必要に応じて見直しを進める。②名簿や個別避難計画を作成するなど備えている。③有効だが実現性について研究する。④マニュアルに基づき支援を行う。⑤大変有効と考える。災害支援の充実を検討するうえで参考としたい。



自由民主党誠翔会

小倉 剛



## 獣害対策(追い払い犬)について

質問

①追い払い犬について調査・研究はされたのか。②追い払い犬に対する補助は可能か。

回答

①鳥獣被害の対策の一つとして有効とされている追い払い犬については、これまで本市において調査・研究はしていないが、過去に県内2市町でニホンザルを対象とした取組が実施されていたと聞いている。②先進自治体の事例を参考にしながら、国の鳥獣被害防止対策交付金である鳥獣被害防止総合支援事業のサル複合対策である「追い払い・追い上げ」補助も含め、取組への補助についても調査研究していく。

## 登山者の安全確保について

質問

安心安全な登山道を確保する必要性は。

回答

市内のあらゆる登山道についての安全性向上にかかる整備は困難と考えるが、これまでから事故の多い危険箇所は、滋賀県山岳連盟や甲賀山岳会等の関係団体の皆様とも連携して確認を行い、注意看板の設置や情報発信を行い、登山者の皆様が快適に登山を楽しんでいただけるよう、本市危機管理部局とも連携していく。



自由民主党 誠翔会  
えびすわき ひろし  
**戒脇 浩**



## より利便性の高い窓口への転換

質問

①行政受付の複雑化や厳格化が進む中、高齢の方や障がいをお持ちの方、外国籍の方にやさしい窓口が必要である。そのためには少量の署名のみで処理を行う「書かない窓口」にすべきである。また利便性をより高め、手続きの時間を短縮するには本格的なワンストップ化を図るべきであり「総合窓口」化へ転換すればと考える。②職員の権限に制約があることは、市民目線では理解できない。職員の能力向上への研修等が課題であることは理解するが、克服できるのではないか。あくまでも市民目線での対応が必要である。

回答

①転入や出産、死亡などの手続きは、複数の課をまたぐ処理が必要で、各課の対応では多くの書類を記入していただくことになる。また職員の権限に制約があり、縦割りの業務となっていることが課題であると認識している。②市民目線での改善を基軸に、処理手順のムダを排除し、体制や権限の変更を進めることで、業務の更なる効率化と窓口での市民満足度を高め、重点的な行政課題の解決に職員が専念できる環境を整える。



公明党  
たなか まさゆき  
**田中 将之**



## シティプロモーションに対する考え方を問う

質問

2021年定例会でシティプロモーションについて課題提起をした。第2次総合計画で「シティセールス」を掲げており市の魅力が情報発信され、「ひと」「もの」「カネ」「情報」等呼び込み、地域が活性化していることを目標像としているからだ。この課題提起に対し、「市の施策が市内外に十分に発信できていない」との課題が明らかになった。さらに、本年3月の代表質問でも特にインナープロモーションについて質問。これらのことから①シティプロモーションの今までの取組と課題。②ビジョンや広報戦略の策定と、市内外で活躍するインフルエンサーとの連携について問う。

回答

①従来は、移住促進や観光誘客、認知度向上などを目指す、外向けのプロモーションに偏りがちであったが、今後は市民を対象としたインナープロモーションへの注力も必要。②具体的な計画や手段を定めた戦略は必要。あわせて広報戦略の策定を進める。各分野で活躍の市出身の方などを大使などとして就任いただくと強い発信力を発揮していただけることから連携に積極的に取り組む。



## 議会改革度調査ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が「議会改革度調査2023」ランキング300を公開し、甲賀市議会は1562議会中114位です。

| 2022年  |   | 2023年 |
|--------|---|-------|
| 全国総合   |   |       |
| 1236位  | → | 114位  |
| 滋賀県内総合 |   |       |
| 15位    | → | 4位    |



公明党  
たなか あらと  
**田中 新人**



## 災害に備える対策と災害時の対応・体制について

質問

①道路状況及び道路の考え方、在り方。②家具転倒防止金具の設置状況、全世帯設置に向けた考えは。③上水道の断水は。④マンホールトイレの整備や携帯トイレの備蓄は。⑤災害時の学校教育は。⑥避難所の、女性や妊産婦、乳幼児をもつ女性への配慮は。⑦哺乳瓶や離乳食その他の備蓄状況は。

回答

①甲賀警察署・国や県などの道路管理者と協議し緊急に確保すべき道路の選定とあわせ応急復旧作業を行う。②市民意識調査で、33.9%で普及に向けて防災士、区、自治会や自治振興会、民生委員児童委員ご協力のもと周知を図る。③耐震化率は17%で水道ビジョンに基づき更新に取り組んでいる。④4施設に15個のマンホールトイレを設置。携帯トイレは便袋タイプ2万40個。仮設トイレ183個、大型仮設トイレ43個備蓄。⑤先進市町を参考に防災訓練を通じて、防災対応の充実を図る。⑥女性や子育て世帯のニーズに配慮し、市避難所マニュアルに基づき対応。⑦乳幼児がおられる家庭には、日頃から出前講座等を通じて啓発している。

# 令和5年度 政務活動費報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

議会の会派には調査研究その他に資するため、必要な経費の一部として政務活動費が交付されています。甲賀市の政務活動費は、議員1人あたり1か月2万円で、所属会派（無所属議員にあっては個人）に交付し、年度末にその用途を明確にして精算し、残金は返還しています。領収書の写し等はホームページで公開しています。

## 凜風会（8名）

交付額 1,920,000円  
利息 9円

■調査旅費 963,174円  
■資料作成費 19,658円  
■広報費 592,470円



返還額 344,707円

## 自由民主党誠翔会（6名）

交付額 1,320,000円  
利息 3円

■調査旅費 464,428円  
■資料作成費 4,972円  
■広報費 850,600円



返還額 3円

※10月より田中喜克議員が入会

## 日本共産党甲賀市議員団（3名）

交付額 720,000円  
利息 0円

■広報費 764,582円  
■広聴費 7,200円

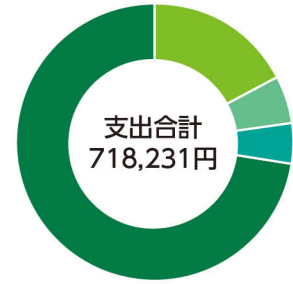


返還額 0円

## 公明党（3名）

交付額 720,000円  
利息 3円

■調査旅費 125,263円  
■資料作成費 39,382円  
■資料購入費 33,110円  
■広報費 520,476円

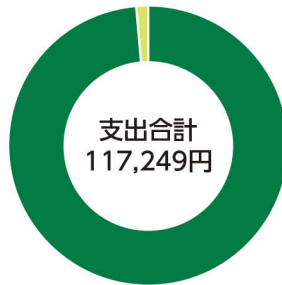


返還額 1,772円

## 会派に属さない議員 田中喜克

交付額 120,000円  
利息 1円

■広報費 115,929円  
■その他の経費 1,320円



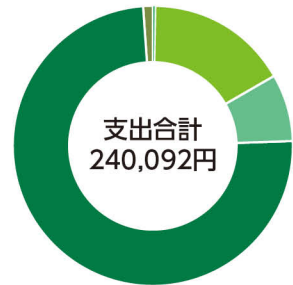
返還額 2,752円

※10月から自由民主党誠翔会へ

## 会派に属さない議員 福井進

交付額 240,000円  
利息 0円

■研究研修費 1,180円  
■調査旅費 39,424円  
■資料作成費 18,646円  
■広報費 178,342円  
■広聴費 2,500円



返還額 0円

## 組合議会報告

### 甲賀広域行政組合議会

#### コロナワクチン未接種に対する対応と

#### 一連のハラスメント事案について

甲賀広域行政組合消防本部における新型コロナウイルス未接種に対する対応と一連のハラスメント事案について、新聞では何度も報道されましたが、その後の対応について、また甲賀広域行政組合議会としての取組について、甲賀広域行政組合議会の谷永兼二議長にお伺いしました。

#### いまの状況は…

谷永 ご承知のように事の重大性から「甲賀広域行政組合ワクチン未接種への対応事案等ハラスメント調査委員会」（委員長・新川達郎同志社大学名誉教授が設置され、昨年の12月26日に「中間報告」が、また今年3月15日には「最終報告書」のなかで、事案の経過と問題点、今後の教訓などについてまとめられました。議会としても、その都度、組合議会全員協議会を開き、それらの内容について、新川委員長から報告を受けて、意見交換してきました。また報告書に示された事実経過に基づき、「懲戒審査委員会」が開かれ、

3月28日付で消防長ら2名の処分、さらには7月8日付で4名の処分が出されました。処分については、議会全員協議会を開き、報告を受け、議員としても、認識を共有しました。

#### なぜこういう問題が生じたのか

谷永 調査委員会の報告書によると、現職及び退職職員にもアンケートを実施し、事実経過をまとめられています。ワクチン未接種への対応については、組織的な問題が招いた事案と考えるにしても、執拗にワクチン接種を要請したこと、接種しないことに対して理由書を作成させたこと、業務区分を行ったこと、またその内容を各所属長宛に発出した

ことは、不当もしくは不適切な対応と決定があったものと認定されました。

#### 今後の取組で大事なことは

谷永 調査委員会の最終答申でも①パワーハラスメントが蔓延する甲賀消防風土との決別、②内部統制の仕組みづくりが急務、③組合を構成する甲賀市と湖南市を介した通報・連絡・相談が可能な窓口の設置、④職員の意識改革、組織風土を払しょくする職員研修を重ねること、の4点が指摘され、甲賀広域行政組合本部としても、これらの実行に努力されています。議会としても大いにかかわっていくことが必要だと考えています。

#### 具体的には…

谷永 7月8日の全員協議会でも報告されたのですが、平成8年から設置されています「消防職員委員会」の機能を強化するために、従来10名の委員で構成していましたが、職場推薦の職員枠も増やして15名に、開催も上期・下期と年二回開催することに。またハラスメントなどに対し

て、秘密厳守が徹底された外部事業者による相談窓口を開設。意識改革は、繰り返し研修を行い、風通しのよい職場づくりをすることが大事です。管理職・一般職を対象にした研修も強化しています。

市民の財産と命を守る、消防の役割は重要です。その仕事は、24時間365日ですから大変な仕事を担っていただいています。今回の一連の事案を教訓に「快適な明るい職場」をつくるこ

とこそ、市民の財産といのちが守れるのだと思います。議会としても、引き続き、一緒に改革できるよう取り組んでいきます。





## 活動日誌

- 4月16日 調査報告 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台  
令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ/地方創生推進拠点整備タイプ）の採択、同交付金（デジタル実装タイプ）の採択、甲賀市投票区域編成審議会の答申など
- 5月15日 調査報告 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）たたき台、甲賀市地域情報基盤施設の民間移行の検討  
公開型GISの運用開始、第5次甲賀市行政改革大綱策定方針など
- 6月24日 報告 地域リーダーの皆様との意見交換会  
国・県の施策に対する要望  
令和6年度甲賀市表彰式

## 所管事務調査

### 第2次甲賀市総合計画 （第3期基本計画）たたき台

第2次甲賀市総合計画の第3期基本計画（令和7年度～10年度・4年間）策定たたき台が示されました。

第3期基本計画は、基本構想未来像「あい甲賀、いつもの暮らしに『しあわせ』を感じるまち」を実現することを目指しています。

◇「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」を第1・2期に続き、施策体系のテーマとして取り組みます。  
第2期基本計画で追求してきた「新しい豊かさ」をこの4年間で更に深化させ、全市民が「叶えたいライフスタイル」を実現、確立出来るように、「新しい豊かさ」を実現するための10の視点をリニューアルし進めます。

### 新しい豊かさ×20分野64施策

Q 第2期で掲げ進められた「新しい豊かさ」は市民にどれほど伝わり、又、市民が本当に感じておられるのか。

A 「新しい豊かさ」という言葉自体は抽象的な部分で難しいところ

もあるが、どういったことが「新しい豊かさ」なのかといった議論を進めていく必要があると考えている。

Q 人口減少の傾向は止められない。人口が減っても暮らせるような地域づくりは。

A 人口減少の本市の状況は、旧5町の中でも人口減少の地域の進み具合に差異があり、人口を増やせる地域、難しい地域に即した攻めの施策、守りの施策を講じて、人口確保、市全体の行政サービスの水準を維持していきたいと考えている。

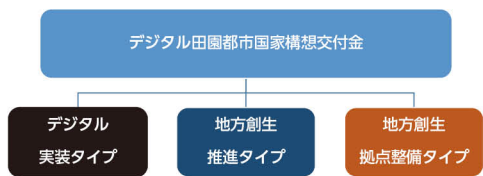
### 地域情報基盤施設の民間移行の検討

市の地域情報基盤施設は当初整備に約40億円、近年の維持管理に年間約2億円の支出を行い、現状の体制を続けた場合には、今後15年間の維持管理に約40億円以上、更に光ファイバケーブルの大規模更新に約30億円以上の経費負担が想定されています。情報通信技術が一層高度化し、国等の支援も無い中、市として必要な巨額の財源確保は不可能と考えます。情報通信分野における利用者ニーズや技術革新への対応、更に持続

可能な「自治体経営」のためには、国が推奨する「民間移行」に向けて検討を進めます。併せて、関連する第三セクター「㈱あいコムこうか」についての今後の方向性、課題についても検討するとの説明がありました。

## 報告事項

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ／地方創生推進拠点整備タイプ／デジタル実装タイプ）が採択されました。



○地方創生推進タイプ

5千958万6千円

○地方創生推進拠点整備タイプ

6億4千654万2千円

○デジタル実装タイプ

559万6千円

# 常任委員 厚生文教委員会

## 活動日誌

- 4月11日 調査 レイモンド甲賀こども園開園に伴う周辺道路環境視察、公私連携型認定こども園3園の運営状況など  
報告 乳幼児教育・保育の指針、学校教育の指針、みなくち診療所の診療開始など
- 5月15日 調査 第2次総合計画(第3期基本計画)たたき台、第2次小中学校再編計画に係る策定方針(案)、市内保育園・認定こども園の運営状況など  
報告 甲賀地域包括支援センターの運営業務委託、新型コロナウイルス感染症対策の振り返りなど
- 6月20日 報告 「働き教育センター甲賀」の閉鎖、「青少年活動安全誓いの日」条例に伴う事業実施計画など

## 所管事務調査

### レイモンド甲賀こども園開園に伴う周辺の道路環境の現地視察

4月11日午前8時から、周辺道路環境の安全性に関する現地視察を実施しました。開園に伴って、通行する送迎車両が増加し、一時的に数台が渋滞する場合も見られました。今回、確認された課題等については、関係機関に対して、可能な限り対応を求めます。



### 第2次小中学校再編計画に係る策定方針について

平成27年3月に策定した「甲賀市幼保・小中学校再編計画」が令和6

年度に終期を迎えることから、市の

教育方針や教育目標等に沿い「第2次甲賀市小中学校再編計画」を策定します。計画期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とし、令和11年度に見直しを行います。

**Q** 段階的な再編とはどのように考えているのか。

**A** 現行の再編計画を最終目標とするが、選択肢の一つとして段階的な再編も考えている。

**Q** たたき台は教育委員会が作成するのか。また、その場合は多角的な視点をもって作成すべきだ。

**A** たたき台は教育委員会が作成するが、地域づくりの観点からも市長部局と連携したい。また、作成にあたっては、居住区域、通学なども含めて考える必要があると認識している。

## 報告事項

### 新型コロナウイルス感染症対策の振り返りについて

現在も感染症の流行は続いており、再度の流行も懸念される状況ですが、報告書を作成し、「本市の感

染状況」・「これまでの主な取組と課題、今後の対応」・「アフターコロナにおける新しい豊かさを求めて」で構成しています。

**Q** 県でも中間報告を出されたが、本報告書作成の位置づけは。

**A** 以前に議会へも振り返りを報告するとしていたことから、市として中間総括をまとめた。

**Q** 本報告書における記載はないが、罹患後症状(いわゆる後遺症)に対する考えは。

**A** 県からの情報も収集しながら必要な取組を検討していきたい。

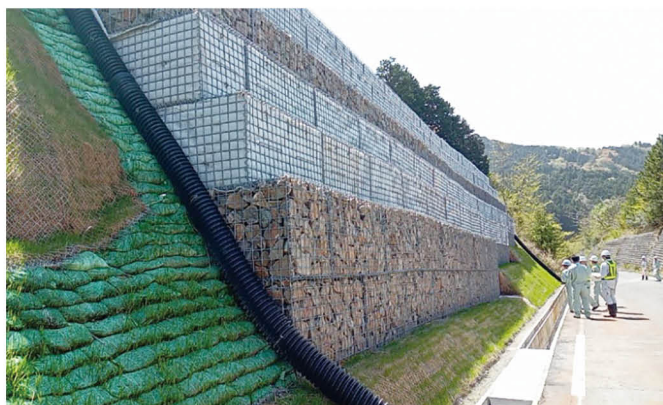
### 「甲賀市青少年活動安全誓いの日」条例に伴う事業実施計画

平成19年7月31日、教育委員会実施の野外体験講座において、小学生お二人の尊い生命を奪う重大な事故を起こしました。その後制定された条例の趣旨等に基づき、①青少年活動指導者等を対象とした研修の場、②市民への広報・啓発、③市職員の安全な活動に対して認識する機会の3つを中心に取り組み、今年度は市内の小中学生を対象として「ライフジャケット体験講座」を実施。

# 常任産業建設委員会

## 活動日誌

- 4月19日 調査 市道災害復旧事業 現場視察  
報告 信楽町長野地域における官民連携エリアリノベーション事業、第3次甲賀市環境基本計画に係る策定方針など
- 5月23日 調査 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）、貴生川駅周辺  
報告 第2次甲賀市水道ビジョン（中間見直し）策定方針、カー  
ボンニュートラル推進事業の実施状況など  
委員会協議会 甲賀市女性の活躍推進事業について
- 6月21日 委員会協議会 委員会視察について



市道南土山・神線の復旧現場

## 所管事務調査

### 市道災害復旧事業現場視察

令和4年8月17日の豪雨により、法面崩壊が発生した「市道南土山・神線」、令和5年6月2日の豪雨により、ブロック積擁壁が倒壊しました。「市道漆谷中山谷線」について、現場視察により災害復旧事業の実施状況を確認しました。

いずれも大型かご枠工等により、法面が補強され、3月末に通行止めが解除されることになりました。

## 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）

### 産業建設常任委員会の所管施策について意見を出しました。

それぞれの施策について、目標との関係で成果指標や成果がより分かりやすいものにすべき。

成果内容について、実態、傾向、変化をかけることが好ましいが、抽象的になる部分は、実際の行動を記載している。

## 貴生川駅周辺特区構想の経過と現状

貴生川駅周辺整備事業を進めるにあたり、基本構想を策定して、貴生川駅南口の整備や官民連携のまちづくりについて検討が進められています。

昨年、一昨年の社会実験をうけて、基本構想や基本計画などに影響を与えたものは何か。

広場の必要性、緑がある広場空間が必要であることを認識して、基本計画の中で重視する。

今年度は、貴生川エリアプラットフォームを中心にしたまちづくり会社準備会を設置とあるが、どのように進めてくのか。

ビジネスとして成り立つかどうかを検証しながら、まちづくりの在り方を検証していく。

## 報告事項

信楽町長野地域における官民連携エリアリノベーション事業について

多くの信楽焼窯元が集積する信楽町長野地域において、空き家や空き工場、空き店舗等を官民連携事業として活用するものです。

信楽焼産地の振興をベースにする事業なら、観光寄りになるのではなく、人材問題が解決できるものを。

信楽焼振興においては、後継者の育成を一番に考え、人材育成、人材確保に注力している。空き家をリノベーションして、創作の拠点とすることや、収益性の高い宿泊、飲食事業に取り込んでいくことにより、多様なクリエイターが滞在・創作できる状況を目指していきたい。



## 広報広聴委員会 広聴部会 視察研修

### 派遣期間

令和6年5月28日～29日

### 派遣場所

●三重県いなべ市

●兵庫県西脇市

### 出席委員

広報広聴委員会広聴部会委員

11人

### 調査概要

今後の部会方針策定のため、とりわけ広聴活動に熱心な先進議会2カ所の視察を行いました。

5月28日は三重県いなべ市議会を訪問しました。ここでは日本生産性本部の『地方議会成熟度評価モデル』を導入した議会改革に取り組んでいる他、主要SNSや動画チャンネルも設けており、走り出してから考える議会の積極姿勢が印象的でした。

翌日は「議会改革度調査」で全国総合1位（2019年）を獲得された兵庫県西脇市議会を訪ね、



年40会場以上、2年で全80自治会において開催されている議会報告会に加え、各種団体を対象に始めた「課題懇談会」について伺いました。広聴活動を政策提言につなげていく過程など参考にしたいものです。

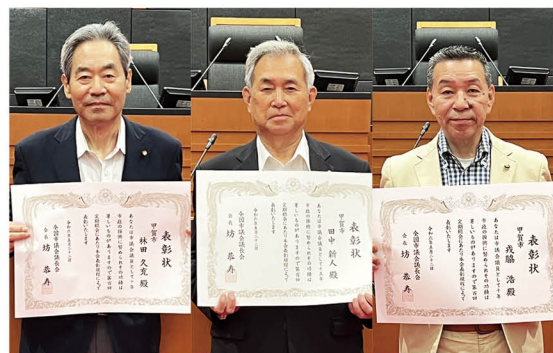
## 令和6年度 名神名阪連絡道路整備促進 甲賀市議会議員連盟通常総会

### 【議事】

- 規約の改正
  - 役員の選任
  - 令和5年度事業報告・収支決算報告
  - 令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)
- 滞りなく承認・可決しました。



## 議員表彰



左から、林田議員、田中議員、戎脇議員

全国市議会議長会第100回定期総会において、甲賀市議会から3人が表彰されました。

|       |    |    |    |
|-------|----|----|----|
| 在職15年 | 田中 | 新人 | 議員 |
| 在職10年 | 林田 | 久充 | 議員 |
|       | 戎脇 | 浩  | 議員 |

※在職10年の田中將之議員は辞退。

# 一問一答

Q.あなたの20年前は？



西田 忠

凜風会

日々認知症の進む祖母の介護が大変な時期、明けない夜はないと自分に言いしかせる毎日でした。



田中 新人

凜風会

水口町議会議員から合併で甲賀市議会議員になり、議員は82人になり、深夜まで議論を重ねました。



林田 久充

凜風会

草津市職員で、龍谷大学客員研究員でした。合併時、甲賀市で全職員研修をさせていただきました。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

4人の子育てと全盲の父、早くから認知症を患った母の在宅介護と家業、とにかく格闘の日々。



堀 郁子

公明党

3回の流産を乗り越え、高齢出産で2人目を産むことができ、喜びいっぱいの子育てをしていました。



橋本 律子

凜風会

合併時、総82名の議員の一員でした。女性の声を政策にと必死でした。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

鮎河東野第2区 区長で、地元営農組合の組合長になった年でありました。



田中 将之

公明党

43歳。信楽焼を販売するため全国をめぐる生活。特に東京での経験が今に生かされていると感謝。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

29才で、結婚4年目で2人の子どもにも恵まれ、お茶とお米の個人農家をしていました。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

水口町職員での「甲賀市合併前夜」、明日日本当に合併できるのかな？と思い巡る長い夜でした。



西山 実

日本共産党

生協の食の安全推進室の室長として、滋賀県の審議会への参加、学習会や危機管理対応に取り組む。



岡田 重美

日本共産党

介護施設で働いていました。認知症の方の介護が主で、悩みながらも学びの多い日々でした。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

東京で排ガス規制のDPFを取り扱う企業で、環境と向き合う仕事をしていました。



瀬古 幾司

凜風会

サラリーマン真っ只中。仕事のことでばかりで、経済には注視していたが、政治・行政には疎かった。



谷永 兼二

凜風会

消防団やPTA、各青年団体などの活動も終え、地元神山区のまちづくりで軸足を置いていました。



橋本 恒典

凜風会

甲賀市合併に伴う業務や、合併後の新市の様々な取組を行っていたことを思い出します。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

18歳の高校3年生でした。合併といっても住所が変わったくらいで特に大きな変化はなかったです。



山岡 光広

日本共産党

その時、52歳で森尻自治会の区長。関心があったので80人の甲賀市議会を傍聴に。



木村 眞雄

公明党

教育委員会に在籍し、総合型地域スポーツクラブの設立や生涯スポーツの振興に携っていました。



福井 進

無所属

2004年度から2年間、学校現場を離れて滋賀県教職員組合と連合滋賀で仕事をしていました。



西村 慧

凜風会

9歳(小学校4年生)、放課後は家に帰ってすぐにハートヘルスパーク甲南で日暮れまで野球。

## 9月定例会の予定

| SUN  | MON               | TUE                       | WED                       | THU                       | FRI                       | SAT |
|------|-------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----|
| 8/18 | 19                | 20                        | 21                        | 22                        | 23<br>本会議<br>(第1日)        | 24  |
| 25   | 26                | 27                        | 28                        | 29                        | 30                        | 31  |
| 1    | 2<br>本会議<br>(第2日) | 3<br>本会議<br>(第3日)<br>一般質問 | 4<br>本会議<br>(第4日)<br>一般質問 | 5<br>本会議<br>(第5日)<br>一般質問 | 6<br>本会議<br>(第6日)<br>一般質問 | 7   |
| 8    | 9<br>委員会          | 10<br>委員会                 | 11<br>委員会                 | 12<br>委員会                 | 13<br>委員会                 | 14  |
| 15   | 16                | 17<br>委員会                 | 18<br>委員会                 | 19<br>委員会                 | 20                        | 21  |
| 22   | 23                | 24                        | 25<br>本会議<br>(第7日)        | 26                        | 27                        | 28  |

※午前9時30分から開会します。

## 編集後記

▶ 6月議会定例会も終了し、開かれた議会、身近な議会の広報ツール「議会だより」を皆様にお届けします。新しい時代をどのような時代としていくのか。その夢の実現は私たちの行動にかかっています。甲賀市は、令和6年10月1日に合併20周年を迎えます。また、来年は国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会を控え、未来への躍動感にあふれた今こそ、実行の時です。先送りでは次の世代への責任を果たすことができません。これからも活発な議会活動をお伝えするため、紙面づくりを広報部会で工夫してまいります。  
(広報部会員 田中新人)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



甲賀市議会だより

2024.08.01  
vol.79

編集 ■ 広報広聴委員会 発行 ■ 甲賀市議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地

TEL.0748(69)2258 FAX.0748(63)4373

ホームページ <https://www.city.koka.lg.jp/council/>

E-mail:koka05101000@city.koka.lg.jp